時事新報

談判の成行如何

今回李鴻章の渡來に際ては談判も遠に纏るみとならんとて或は媾和の必成を期するものもなきに非ざれども我輩は尚ほ支那人の心術如何に疑を存して竊に之を危ぶむものなり今回は全權委任の確否に付き豫め其不都合なきを認めたる上にて渡來を諾したるものゝ由なれば前回の如き不機裁はなきみとならんなれども萬國普通の慣例に無頓着なる支那人のことなれば實際には果して此方より注文通りの全權を帶びて渡來したるものなるや否や尚ほ疑はざるを得ず然れども彼は我全權と既に第一回の會見を了して全權委任狀の交換も昨今の中に在りと云へば其確否は直に明白なる可し假りに此點に就ては毫も不都合なく直樣、談判に取掛るものとして尚ほ不安心に思ふ所のものは第一に使節の當人たる李の心構なり彼が今回の戰爭に付き最初の第一着を誤りて心ならずも開戰したれども連戰連敗、いよ〳〵爭ふ可らざるを悟りて頻りに平和の說を唱へ百方手を盡して滿廷の主戰論を抑へ遂に自から使節として渡來したるものなれば他の一般の無知蠻を異にして多少は準の利害を解するものゝ如くなれども彼が眞實心の底より屈服したるや否やは未だ知る可らず遲慢倨傲は支那人の常のみならず元來李の如きも彼の世辭愛嬌に抜目なき外國人等の追從を眞面目に受けて乃公みそは世界屈指の豪傑なりとの自惚心なきに非ず彼の平素を詳にするものゝ能く知る所にして此心たる容易に脫し得べきに非ず左れば今度の談判に就ても日本人の望む所は頗る大なるが如くなれども乃公自から使して對談するときは彼等を說破して自から其要求を引去らしむるみとも敢て難きに非ずなど天津談判當時の事なども想像して獨り自から大に期する所あるやも知る可らず斯る自惚の失策は所謂豪傑の末路に多く見る所の例にして果して然らば李も亦一個の老耄漢たるを免れず して談判は勿論纏る可らず成は然り彼も今日と爲りては眞實、毫帝を極め日本の所望の如きも大抵は云々なる可きを想像して如何なる條件も國の存亡には換へ難しとして自から責任を負ひ日本の指命のまゝに事を定むる決心にて渡來したるものならんには媾和條約は容易に成るみとならんなれども左るにても尚ほ又此に總全す可きは其條約が果して國帝の批準を得るや否やの一事なり今回李の帶び來りし全權の實格にして果して欠くる所なきに於ては北京朝廷は疑もなく媾和一切の權能を彼に委任したるものなれども國帝は勿論、彼の親王大臣の如き果して能く自國現在の地位を知悉して我指命のまゝに甘諾したる媾和條件も實際止むを得ざるものとして之に滿足するや否や或は李も左るものなれば其國人等の無知を幸に種々に降參約の事實を文飾して以て他の耳目を瞞着せんと試むるやとならんなれども實際に金を費ひ土地を割くの事實は如何に飾ちんとするも飾るを得ず敗は戰の常にして深く意に介するに足らず小敗綱の爲めに倭奴に對して金鵄と勝利とを捐くなきは以ての外の沙汰なりとて忽ち生擒論を鼓吹せしめ一切の責を李に歸して其一身を割すると同時に媾和の批準を拒絕するが如き奇變なしとも云へ可し

○媾和批準の拒絕は條約の責て或る場合に讀したる舊劇にして今日の如き場合には嘗か再演の掛念なきを得ざればなり左れば今度の談判は滯に進行して平和條約の成立を見るも尚ほ未だ安心す可らざるものあるが如し我國人たるもの決して油斷す可らざる事り

電報

○支那の窮策、歐洲諸國に泣付く

馬關三月廿一日午後二時半特派員發

李鴻章が日本の要求には到底應じ難きを以て續て守備を嚴にす可し云々の命令を天津の官吏に傳へたりと云ふは全く我國に對する示威運動にして是に由て幾分か我要求を輕からしめんとするの窮策ならん又北京政府は過日來頻りに歐洲諸國に泣附して若しも日本が大陸の割讓を求るよとも あらんには何卒干涉して其要求を退けしとの旨を依頼し居れりと云ふ

○李鴻章旅館に入る

馬關三月廿一日午前十一時半特派員發

李鴻章父子及び重立ちたる隨行官吏は數多の從者を随へ豫定の如く本日午前十時公義號より小蒸汽船に乘移り東綾橋より上陸し李鴻章は前日の如く待受の轎に乘り其他は腕車にて直に旅館引接寺に赴きたり李鴻章の上陸する一時間前即ち午前九時頃荷物雜品を艀舟にて運びこと共と廚夫七八名上陸して其荷物を引接寺に運び其後午前九時半頃稍や見樂ある支那人二組に分れ前後合せて十五名上陸せり而して李鴻章、馬建忠と共に李經芳、羅豐祿、馬建忠、伍廷芳(以上は大臣の名稱)林聯輝、盧永銘、羅庚齡、柏斌、黃才俊、王宗厚、呂夢麟、高莊凱、忠勇祿、洪希昌、黃正、楊福閩、閻欽、田尙霖、芝震邦、吳忠元、倪順、吳錫寶、田錫玲、兵榮の二十五名にして其他數名あり

○北京政府より電報を發す

馬關三月二十一日午後九時過發

正午過の豫定なりしも紹介に依り午後二時半頃となるべく本日より本談判に取掛るべしと云ふ

○談判開始

馬關三月二十一日午後三時三分特派員發至急報

豫報の如く李鴻章は午後二時四十分引接寺を出で例の如く轎に乘り隨行の李經芳、馬建忠、羅康齡、の三名は徒歩にて各々談判所春帆樓に赴きたり

是より先き伊藤總理大臣は午後二時旅館梅の坊より徒歩にて談判所に赴き陸奥外務大臣は同二時十五分中田秘書官と相携へ是れ亦徒歩にて談判所に入り伊東書記官長、井上外務書記官、陸奥外務官等と共に李鴻章の來るを待受け直に談判に取掛りたり

○使節旅館に歸る

馬關三月廿一日午後五時八分特派員發至急報

兩國全權の會談二時間に及び午後四時四十分使節は旅館に歸れり我列席者は前日の通なりしも彼の列席者は前日よりも二名少かりし

○引接寺投宿者の姓名

馬關三月二十一日午後零時四十八分特派員發

本日上陸して引接寺に移りしは

李鴻章、李經芳、羅豐祿、馬建忠、伍廷芳(以上は大臣の名稱)林聯輝、盧永銘、羅庚齡、柏斌、黃才俊、王宗厚、呂夢麟、高莊凱、忠勇祿、洪希昌、黃正、楊福閩、閻欽、田尙霖、芝震邦、吳忠元、倪順、吳錫寶、田錫玲、兵榮の二十五名にして其他數名あり

○北京政府より電報を發す

馬關三月二十一日午後九時過發

盧永銘外一名夕刻上陸し北京に向けて發したり

○欠席者

馬關三月廿一日午後三時

本日の會見には羅豐祿欠席せり

○廣島の春季皇靈祭

本日は春季皇靈祭なれば日の賑へり

○後藤伯の廣島着

後藤伯昨夜來着せり

○福澤先生

馬關三月廿一日午後

福澤先生關西より歸京の途に就き今朝上り一番汽車にて出

○福井の春季皇靈祭

過日來寡氣陰殺なりしが本日は出其だ多し

○皇后陛下優渥なる賜ふ

廣島三月廿一日午前

昨日皇后陛下の當地停車場に車の側に拜迎せし文武高等官、陸海軍參謀等を順次御座近に召し給ひ又今日は行在所に於て文武高等官五位以上に對して慰勞の御言葉を賜ひしと、川上參謀に對しては勝算